

左伯綜合建設(株)安全協力 | 通常総会・安全衛



あいさつに立った佐伯社

佐伯綜合建設(川辺町、佐伯敏充社長)は1日、安全協力会(奥田重信会長)の主催で第27回の通常総会と安全衛生大会を美濃加茂市内のホテルで開いた。

COHSMS 全員に浸透へ

佐伯綜合建設

に講演があった。最後に参加者全員で安全を宣言し、今後の安全施工を誓った。

続いて行われた安全衛生大会では無事故・無災害を呼び掛けるとともに、安全表彰や16年度の安全衛生委員会活動計画などが発表された。

また社会保険労務士法人T&M代表の木村哲也氏が、「社会保険加入義務とその対応」と題した講演を行った。

長「写真」は、売り上げが90億円に達したことなどを話題に「名実ともに100億円企業となるための取り組みとして会社の基本姿勢のシステム化を進めている」とし、「品質管理の徹底や生産性の向上だけでなく、協力企業を含めた全員にCOHSMSを浸透させていく」などと話した。

総会では任期満了に伴う役員改選が行われ、奥田会長ら本部役員の続投を決めた。

長「写真」は、売り上げが90億円に達したことなどを話題に「名実ともに100億円企業となるための取り組みとして会社の基本姿勢のシステム化を進めている」とし、「品質管理の徹底や生産性の向上だけでなく、協力企業を含めた全員にCOHSMSを浸透させていく」などと話した。

社会保険100%加入めざす

佐伯総合建設 安全協力が大会



安全衛生活動に積極的な企業と個人の表彰も行った

【美濃加茂】佐伯総合建設（本社岐阜県川辺町、佐伯敏充社長、電話0574・53・2555）の協力的な会社で構成する安全協力は、このほかに、美濃加茂市太田町のシテイホテル美濃加茂で通常総会と安全衛生大会を開いた。労働災害ゼロと労働安全の重要性を周知した。総会の冒頭、奥田重信安

全協力の会長が「ことしは基本に返り、熱意と誠意と感謝の気持ちを持って仕事をしたい」と呼びかけた。佐伯社長は「建設現場に多く残るロスや無駄をなくし、互いに利益を享受できるように生産性向上に努めていきたい」とあいさつした。

また、2016年度の事業として、会員企業の社会保険加入率100%をめざすことや足場特別教育の実施などを決めた。安全衛生大会では、佐伯総合建設独自の安全手順マニュアル「安全衛生管理手順書」の作成などに取り組み、労働安全衛生マネジメントシステム「COHSMS（コスモス）」の運用による重大災害防止活動に励むことを確認した。

このほか、安全衛生活動に積極的に取り組んだ協力会社4社（晃和塗工、ウエダ工業、林鋸金、安田組）と河合塗装の河合昭治氏を表彰した。